

温暖化対策を進めよ

「県政の最重要の柱に」表 知事が

公明党愛知県本部は14日、①地球温暖化対策(署名53万6137人)②生命を守る健康社会の実現(同148万8606人)③安心・安全なまちづくり(同

党愛知県本部

90万2108人)の推進を求める要望書と署名簿を、神田真秋知事にそれぞれ提出した。これには、女性党員の代表5人と党県議団の7人全員が同席した。

同県本部は今年2月、党員・支持者の協力を得て、国政と県政に関する早期整備—などを求め

53万148万人に上る署名添え

健康社会の実現などを含め

県に3種類の要望書

要望について各地で署名運動を展開し、いずれも数多くの賛同の署名が寄せられた。要望の地球温暖化対策については「厳しい自動車の購入へ

の優遇税制の拡充②街の緑を増やすための助成制度の拡充、生命を守る健康社会の実現では①乳がん検診の対象年齢の拡大と無料化②高齢者の歯科検診の充実、安心・安全なまちづくりに向けては「放課後子ども教室の早期整備—などを求め、

神田知事(中央右)に署名簿を手渡し要望書の党員代表と党県議団



住民を訪問し、署名への協力を呼び掛ける志田陽子町議ら(愛知県小坂井町)

の誘致をめざしていることもあり、「CO₂(二酸化炭素)の削減を含め、県政の最重要の柱の一つとして頑張っていく」と答えた。

「ごいパワーを感じた。問いたい」と答えた。また、乳がん検診に関する切実で、強いニーズが署名につながったのだとして「マンモグラフィ」と思いうる」と述べ、敬意を表明。その上で、地球温暖化見・早期治療できるように、特に対策については、名古屋にしかない「乳がん検診の推進を強く求めた。市が2010年に開催」と述べ、市町村と連携し、神田知事は「署名簿を回約国会議(COP10)示した。